

西胆振地区の皆さん、初めまして。伊達赤十字病院循環器科で医療に従事しています小笠原です。私が専門とする循環器疾患を中心に、全5回にわたり定期コラムの形で医療情報をお届けします。

初回のテーマは「心不全」、血液に酸素や栄養を全一です。文字通り心(心臓)の不全(十分でない状態)であり、何らかの臓の機能が低下して、心臓が異常な状態になつていゝことを意味します。

そもそも心臓は全身の臓器に血液を送り届けるポンプの役割を担つてお

# 心不全



おがさわら・だいすけ 1974年生まれ 医学博士。神戸大学医学部医学科卒。2023年2月より伊達赤十字病院循環器科第2循環器科部長として着任。狭心症や心筋梗塞といった循環器救急疾患をはじめ、足梗塞といった病気に代表される下肢の血管病に対して専門的に取り組む。

「心臓が悪いために息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病氣」と定義されており、代表的な症状は息切れやむくみですが、それ以外にも体重増加や筋梗塞といった心臓を養う血管の病氣になります。他に高血圧や不整脈、心臓の部屋を仕切る弁の異常(心臓弁膜症)、心臓の筋肉の病氣(心筋症)など多岐にわたります。

## むくみ、体重チェックを

食欲不振、腹部膨満感、疲れやすい、手足が冷たいなどさまざまな症状がありますので、これらの症状に当てはまる場合は、早めの診察を検討してください。心不全の原因として最も多いのは、狭心症や心

「心不全そのものに対するお薬の治療」になります。心筋梗塞や不整脈など心不全の原因が明らか場合には、まずはその治療を優先して行う必要があります。原因がはっきりしない場合や、原因の治療を行つても心不全が十分に改善しない場合などは、お薬の治療も並行して行います。心不全の治療薬の詳細については紙面の都合上割愛しますが、ここ近年で新しい心不全治療薬が次々と開発されてお

り、心不全の内服治療は新しい時代に突入したと言えます。また心不全治療の基本は生活習慣の改善と薬の服用ですので、血圧・血糖値・コレステロール値などの管理が大切であることは言うまでもありません。心不全はこれまで述べてきたように完全に治すことを目指す病氣ではなく、病氣とうまく付き合つていくことで長生きできる病氣と考えたほうが正しく、そのためには患者さん自身の努力も必要です。生活習慣病の管理(塩分の取りすぎは特に注意!)は大切ですし、急激にむくみや体重が増えた場合(短期間で2kg以上の増加は要注意)などは循環器科での診察をお勧めします。また既に心不全の診断でお薬を処方されている方などは、飲み忘れやご自身の判断による服用の中断は心不全が悪化するリスクになりますので注意してください。

### 西部支社(伊達)

TEL 0142-23-2103  
FAX 0142-23-5848  
seibu@muromin.co.jp

### 中部支社(登別)

TEL 0143-85-4530  
FAX 0143-85-4773  
chubu@muromin.co.jp

### 白老・苫小牧支社

TEL 0144-82-2484  
FAX 0144-85-2300

### 札幌支社

TEL 011-241-2753  
FAX 011-241-2637

ニュース、生活情報、購読、  
広告は上記の各支社へ  
お知らせください。

「心不全の治療は大きく分けて二つあり、「心不全の原因に対する治療」と「心不全そのものに対するお薬の治療」になります。心筋梗塞や不整脈など心不全の原因が明らか場合には、まずはその治療を優先して行う必要があります。原因がはっきりしない場合や、原因の治療を行つても心不全が十分に改善しない場合などは、お薬の治療も並行して行います。心不全の治療薬の詳細については紙面の都合上割愛しますが、ここ近年で新しい心不全治療薬が次々と開発されてお